

中山間地域元気創出若者活動支援事業に係る活動状況報告書

(グループ名：大島商船高等専門学校 国境なき文化使者)

日時・場所等	活動内容
7月11日(月) 大島商船	第1回周防大島町との打合せ 平成23年実施について(日時、会場、準備、片づけ日程、その他) (学生参加者：20名)
10月3日(月) 大島商船	第2回周防大島町との打合せ 平成23年実施について(日時、会場、準備、片づけ日程、その他) (学生参加者：20名)
10月14日(金) 大島文化センター	第3回周防大島町との打合せ 出店、バザーについて(出店配置・出店に関わる準備) (学生参加者： 名)
10月19日(水) 大島文化センター	第1回エスニック料理に関する打合せ ジョイナス店長細野晃治による指導講習会 (学生参加者：5名)
10月27日(木) 大島文化センター	第2回エスニック料理に関する打合せ ジョイナス店長細野晃治による指導講習会 (学生参加者：5名)
10月28日(金) 柳井保健所	エスニック料理に関する届け出 (学生参加者：1名)
10月29日(土) 柳井市内	エスニック料理材料の仕入れ (学生参加者：5名)
11月2日(水) 大島商船 大島文化センター	会場設定(午前) (学生参加者：14名) 第3回エスニック料理に関する打合せ(午後) ジョイナス店長細野晃治による調理指導 (学生参加者：15名)
11月3日(木) 大島商船	大島商船祭 準備、活動、片づけ (学生参加者：15名 社会人：4名)
11月8日(火) 大島商船	事務処理 (学生参加者：1名)
11月26日(土) 安下庄 漁協管理地	第1回安下庄「海の市」開催支援[来場者：870名] 事前広報活動(広報ポスター・チラシ作成、広報車広報原稿作成・吹込み) 会場設営、受付案内、来場者調査、駐車場誘導、販売補助、片付け等 (学生参加者：12名)
12月23日(祝) 安下庄 漁協管理地	第2回安下庄「海の市」開催支援[来場者：800名] 事前広報活動、会場設営、受付案内、来場者調査、駐車場誘導、販売補助、福引き企画・実施、片付け等(岩国商業高校と連携) (学生参加者：4名)

<p>1月28日(土) 安下庄 漁協管理地</p>	<p>第3回安下庄「海の市」開催支援 [来場者：780名] 事前広報活動、会場設営、受付案内、来場者調査、駐車場誘導、販売補助、片付け等（留学生のアイディアを活かしたエスニック料理販売） （学生参加者：11名）</p>
<p>2月18日(土) 安下庄 漁協管理地</p>	<p>第4回安下庄「海の市」開催支援 [来場者：870名] 事前広報活動、会場設営、受付案内、来場者調査、駐車場誘導、販売補助、片付け等 （学生参加者：8名）</p>
<p>補足説明</p>	<p>安下庄「海の市」は、衰退する地域の活性化を目指し、新たな事業として大島商船高専みかん島再生クルー「島スクエア」と地元漁協や農業者等が中心となって実験的に立ち上げたもので、毎月1回計6回実施し、その結果を検証することで、今後の可能性を探る取り組みである。 地元の農漁業者等が参加し、安下庄漁港先端の空地にテントを約20張って実施している。</p>

<p>事業の実施により得られた成果など</p>	<p>《ふるさと文化祭関連》  イベントへ企画参加は、これまでになく一般参加者の数を増加させただけでなく、子供から高齢者までの積極的な活動への参加があった。文化祭展示に参加されていた多くの方から元気をもたらったという意見をいただくとともに、今後のイベントにも参加要請を受けた。体育館に「こども達の楽しい科学スペース」を設け、子供たちが高専生と触れ合いの場所を提供したことで、これまでになく活気に満ちた空間を作り出すと同時に、科学的なものづくりの体験を提供できた。バザーにおける異文化食と民族服を身に付けた学生との地域住民との触れ合い体験コーナーは盛況であった。</p> <p>《安下庄「海の市」関連》  イベントの立ち上げ、事前広報活動（ポスター等の作成、広報車広報原稿作成・吹き込み担当）から、会場設営、受付案内、来場者調査、駐車場誘導、販売補助、片づけまで、幅広い業務に学生が携わったことで、多数の来場者の確保につながった。  第2回海の市では、福引きを企画・実施するとともに、岩国商業高校と連携して焼き芋販売を実施するなど、販売促進にも貢献した。  第3回海の市では、留学生のアイデアと地元のレストラン「ジョイナス」とのコラボとしてエスニック料理を販売することで、好評を得た。実験的に販売したグリーンカレーうどん、焼きバナナは、今後レストランで販売される予定である。</p>
<p>問題点・課題 今後の対応策</p>	<p>ふるさと文化祭には、予想以上の来場者があり、用意した民族料理の数では対応できなかった。  留学生や英会話クラブのメンバーを中心に、今回の企画運営を行ったが、より多くの学生が参加できるような企画を立てることで、さらなる地域活性化が期待できる。  11月、12月、1月の活動では、地域社会のレストランとの共同開発ができただけでなく、地域社会のマーケット立ち上げに参画できた意義は大きかった。一方で、学校行事と活動との予定が重なることや場所との問題は今後検討する必要がある。</p>
<p>次年度以降の 取組予定等</p>	<p>文化イベントでの異文化活動の継続  海の市での地域貢献  学生とレストラン「ジョイナス」とのコラボによる製品開発</p>